

令和3年度 子どもゆめ基金20周年記念事業 キッズたんけんたい①

- 1 趣 旨 小学校低学年の子供たちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行い、仲間と関わったり、協力したりする活動を通して、自立心や自尊感情を育てる。
- 2 期 日 令和3年11月6日(土)～7日(日) 1泊2日
- 3 参加対象 小学1・2年生
- 4 募集定員 40人程度
- 5 参加者 41人(申し込み:80人)
- 6 指導者 国立大隅青少年自然の家職員3人
- 7 日 程



11月6日(土)	11月7日(日)
10:00 受付	6:30 起床・洗面・着替え・テント撤収
10:30 出会いのつどい	7:30 朝食
13:25 テント設営	9:30 野外クッキング ・溶岩プレートピザ
14:40 たんけんに行こう!(館内Ver)	13:00 振り返りタイム
17:00 入浴	13:20 別れのつどい
18:00 夕食	13:50 解散
19:00 あそびリンピック	
21:00 消灯・就寝	

8 事業運営上の配慮

- 新型コロナウイルス感染防止対策として、活動ごとに「手洗い・うがいの時間」を設定するとともに、活動時のマスク着用、ソーシャルディスタンスの確保を参加者に周知した。また受付時、班付きボランティアにキッチンペーパーと除菌用アルコールを配して活動場所の消毒を適時実施した。
- 小学校低学年対象ということで子供達が意欲的に取り組めるような活動や、友達と協力する活動、自然体験活動をプログラムに取り入れた。
- 生活習慣の意識が高まるよう、自分のことは自分でさせるとともに、自然体験、野外炊飯、生活体験(テント設営)、遊び(あそびリンピック)等、多岐にわたるプログラムを実施した。

9 参加者の感想

- テントを自分で立て、そこで寝ることができたので楽しかった。
- 館内たんけん(宝探し:シュラフ)がとても楽しかった。
- 友だちができたので良かった。ピザづくりが初めてだったけど、自分で作れてびっくりしました。

10 成果

- 親元を離れた宿泊を伴う生活で不安や緊張を抱える中、各種体験活動や共同生活を体験することで基本的な生活習慣を身に付けるきっかけになり、様々なことへ自信が付いた子が増えた。
- 新型コロナウイルス感染防止対策を意識した手洗い、うがいの徹底、ソーシャルディスタンスを確保した活動が行えた。

